

# **SEMANARIO DE SÃO PAULO**

No 121

01A-22-FEVEREIRO-1924

祖國人之觀光團起也(上)

聖  
經  
新  
報

英國人は三年うちには出稼  
地では植民地から其宗族故郷の本國まで一度帰るそうだ。  
此語は私共の紹介の折りよ  
細少の折の私共は何故英國  
ばもうすこだうり、金持であ  
るから、もうすこしんぢらう便に  
が思ふと良かうた。  
先輩の世界通りき人々をう  
き、さすがに事柄があつた。  
此語は私共の紹介の折りよ  
く先生の世界通りき人々をう  
き、さすがに事柄があつた。  
日本官吏が在外地ばかり三年それ  
古賜服を得て帰朝する。それ  
は官吏の仕事と云ふ方圓をう  
現せざる、根本は人間を眞理  
の生れ、生年と云ふ莫から  
いのである。  
人間は、人間に生きる日  
あらず。祖国は日本  
お互は如何に物的に重く見る盡  
絶を有し、宿るものとは云へば  
得らぬじやない。

生水故郷を持つ人々は、生水の  
血が生年は故郷の風を吸ひ、か  
くとも、故郷の水を呑みたか  
に於ては、ずれもパンのみに生ま  
れたり。

生水故郷を持つ人々は、生水の  
血が生年は故郷の風を吸ひ、か  
くとも、故郷の水を呑みたか  
に於ては、ずれもパンのみに生ま  
れたり。

吾々の细胞に最も満ちた生  
育と親は生々の親より離  
れて居る。難能いのは、う尊  
いものだらう——だが生子つ  
くことを知つて宿す御は  
育て親が何うする事も出来ぬ  
から、唯な生々の親子が  
お産するのである。

お互日本生れの人間に日本の  
天地が自然が化る處——山川  
七ヶ所ありが。食事を行庄  
迎から日本、社會、人間、社會  
を呪ふんばらう。だが生水は  
食つて行すぬ悲一さうは日本  
社會と呪ふことちつて、行處り川  
に飛び込んで、行處り水を  
吐き出し、力尽かへどや毒虫  
の恐怖は日本、水が何で  
交通の不便と小が世界の人  
間を馬鹿に——ます。

東伯昌は生年、日本へ守帰し  
来て、入水多かうに、お水口  
出来ぬ事は、日伯間の  
意味は、専門を要する事  
一路銀玉多幸へ

**SEMANARIO DE  
SAO PAULO**  
**ROCKAWAYANA**  
**REDACAO E  
PROPRIETARIO**  
**RUA NORDESTE II**  
**CAIXA POSTAL**  
**58**  
**BAURU**  
**ESTADO DE**  
**SÃO PAULO**  
**BRAZIL**





大正年號正月廿九日試

日本人の仕事

旭旅館  
電 三丁目四〇二 館主 中山忠太郎  
聖 三丁目五九 館主 小川翠石  
中山旅館  
電 三丁目五九 館主 中山忠太郎  
聖 三丁目五九 館主 小川翠石  
廣嶋旅館  
電 三丁目五九 館主 小川翠石  
聖 三丁目五九 館主 小川翠石  
上地旅館  
聖市木下町二番  
聖市三丁目五番  
聖市三丁目五番  
平田旅館  
聖市平田崎太郎  
聖市平田崎太郎  
大福旅館  
聖市木下町二番  
聖市木下町二番  
河尾旅館  
新函三  
館主 河尾利市  
ノミスナ錦 リンス市  
ノミスナ錦 リンス市